

令和2年10月30日

浜田市議会議長
川神 裕司 様

議員名 笹田 卓



調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和2年10月22日(木) 10:00~12:00

2. 研修内容

再生可能エネルギーについて

3. 研修先

浜田市役所5階

4. 調査経費 5,000円

(経費内訳 講師謝金 5,000円)

5. 調査研究活動の概要

コミュニティエナジー株式会社の南原順氏に再生可能エネルギーについて、話を伺った。

○今、世界で何が起きているのか？

新規建設が多いエネルギー施設は、75%で再生可能エネルギー施設が1番。

世界の使用率は27.3%。

日本の使用率は23%。

日本でも増加中。

島根県も再生可能エネルギー施設が増加している。



○なぜ、浜田に来るのか？

風が吹くところ、水流が強いところ、日照が多いところに再生可能エネルギー施設を作りたい。

島根県が最適地、再生可能エネルギー施設が少ない。

このことから島根県に来る傾向が続く。

○なぜ、反対が起こるのか？

環境紛争が起こる。

太陽光

災害、景観、水資源、土砂災害、水の濁り。

風力

野鳥、騒音、景観、自然保護

○これからのエネルギーはどうなるのか？

再生可能エネルギーが今後増えていく。

所見

南原氏の講義をお聞きし、今後の浜田市はどうすべきか、しっかり考える機会となった。

火力発電も建設中だが、再生可能エネルギーについても推進すべきだと考える。

しかし、地域住民にメリットがない中での再生可能エネルギー施設建設は難しい。

再生可能エネルギー発電会社の協力と地域住民との連携を構築する必要がある。

世界が再生可能エネルギー推進している昨今、日本も島根県も浜田市も世界の未来のために、今以上に地域住民と連携し、推進体制を強化する必要があると感じた。